

ウェルナー症候群の悪性腫瘍スクリーニングに関する提言 (2024)

悪性腫瘍の種類	頻度	方法	間隔やタイミング	注意点
甲状腺癌	高	触診、甲状腺超音波	毎年	
肺癌	低	胸部X線	毎年	禁煙する
乳癌	低	乳腺超音波	2年毎	過度な飲酒を避ける
髄膜腫	高	問診（頭痛やめまい、神経症状） 頭部MRI	6カ月毎 頭部MRIは必要時	
軟部肉腫 骨肉腫	高	軟部組織の視診・触診、骨痛の問診	毎年	
悪性黒色腫	高	皮膚の視診	毎年	過度の紫外線暴露は避ける 日焼け止めの使用を推奨
白血病 骨髄異形成症候群	高	血算	3カ月毎	
膵癌	低	腹部超音波	糖尿病発症や血糖管理の 急激な悪化時	
胃癌・大腸癌	低	便潜血	毎年	胃透視検査より上部消化管 内視鏡検査が望ましい